

(人)

(人)

地方公務員法の規定により、地方公共団体における人事行政の公正性・透明 性を高めるため、人事行政の運営等の状況を公表することが義務付けられてい

市では、小金井市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、市 職員の給与・定員管理等のほか、職員の採用、退職の状況や勤務条件などを公 表しています。

なお、この内容は市ホームページでもご覧いただけます。

問合先 職員課人事研修係 (☎042-387-9808) 、給与に関することについて は職員課給与厚生係(☎042-387-9809)、定員適正化計画については企画政 策課企画政策係 (☎042-387-9826)

1職員の任免および職員数に関する状況

(1)採用者数および退職者数の状況(平成27年度)

	1	采用者数					退職	者数			
職種	一般職	任期付	合計	定年退職	普通 退職	分限 免職	懲戒 免職	失職	死亡 退職	任期 満了	合計
事務職	19	2	21	2	10	0	0	0	0	1	13
技術職	8	16	24	2	8	0	0	0	0	4	14
技能職	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合 計	27	18	45	5	18	0	0	0	0	5	28

- 分限免職=公務能率を維持する目的で職をやめさせたものです。
- 懲戒免職=職員の非違行為に対して懲戒処分として職をやめさせたものです。
- 失職=地方公務員法第16条(欠格条項)に該当した場合、職員でなくなることです。
- 任期満了=任期付職員がその任期を終えることです。

(2)職員数の状況

①職員数の	状況(1	各年4月1日現在)	(人)	
		は。	内記	

		内訳			内訳						
区分	理事者	市長	副市長	教育長	正職員	部長職	課長職	課長 補佐職	係長職	主任職	主事職
平成27年度	3	1	1	1	670	12	47	9	134	148	320
平成28年度	3	1	1	1	689	12	55	0	134	145	343

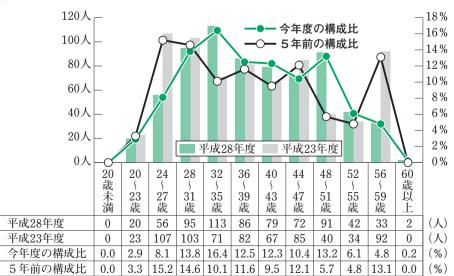
区分	再任用職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	派遣職員	計
平成27年度	43	273	98	3	1090
平成28年度	32	275	92	9	1100

②部門別職員数の状況と主な増減理由(各年4月1日現在)

	X	分		職員	員数	対前年	主な増減理由	
	\sim	7,1		平成27年度	平成28年度	増減数	土な垣城珪田	
		議	会	10	10	0	_	
		総	務	132	136	4	再任用職員退職補充による増	
		税	務	49	50	1	欠員補充による増	
普	般	民	生	215	228	13	育児休業代替任期付職員採用による増	
通	行政部門	行政	衛	生	58	55	$\triangle 3$	浅川清流環境組合への職員派遣による減
普通会計部		農材	水産	1	1	0	_	
- 點		商	工	6	6	0	_	
門				土	木	52	56	4
		小	計	523	542	19	_	
	孝	文	育	98	97	△1	公民館東センター委託化による減	
	1,	<u> \</u>	計	621	639	18	_	
会盆		下水	道	9	11	2	育児休業代替任期付職員採用による増	
会計部門	بر	その	他	41	42	1	再任用職員退職補充による増	
門等	1	<u> </u> \	計	50	53	3	_	
1	合	計		671 (790)	692 (790)	21	〈参考〉人口1万人当たりの職 員数 58.47人	

- ※ 職員数にはフルタイム勤務の再任用職員を含みます。
- () 内は条例定数の合計です。

③年齢別職員構成の状況(平成28年4月1日現在)



(3)定員適正化計画の数値目標および実績

2員適正化計画の数値目標および実績 (/							
	平成28年度	平成29年度					
計画数(目標)	661	計画策定中					

2職員の競争試験および選考の状況

(1)採用試験実施状況(平成27年度)

(人)

区分	職種	応募者	受験者	合格者
上級職	一般事務	195	158	25
	建築技術	7	4	1
	土木技術	10	6	1
	一般事務(身体に障がいのある方対象)	12	10	3
中級職	栄養士	19	18	1
1778区400	児童厚生員	14	12	1
	学童保育指導員※	9	9	2

(注) 平成28年4月採用分(ただし、※印は平成28年5月採用分)

(2)昇任試験実施状況(平成27年度)

(人)

選考区分	受	験申込	҈者		申込率			合格者		
医	男	女	合計	男	女	全体	男	女	合計	
係長職・専任主査職	29	5	34	43.3%	13.9%	33.0 %	9	1	10	
主任職	43	25	68	66.2%	22.9%	39.1 %	8	5	13	
統括技能長職	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	
技能長職·専任技能主査職	4	2	6	40.0%	40.0%	40.0%	1	0	1	
技能主任職	3	1	4	25.0 %	20.0%	23.5%	0	0	0	
合 計	79	33	112	51.3%	21.3%	36.2 %	18	6	24	

3職員の給与の状況

(1)総括

①人件費の状況(平成27年度普通会計決算・速報値)

住民基本 台帳人口	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費比率 (B/A)	平成26年度 人件費比率
117,978人	38,542,206千円	1,542,002千円	5,908,791千円	15.3%	16.6%

※ 住民基本台帳人口は、平成28年1月1日現在の人数です。

②職員給与費の状況 (平成27年度普通会計決算・速報値)

O 1117 41H 7 7 4									
			1人当たり						
職員数A	給 料	職員手当	期末・ 勤勉手当	合計B	給与費 B / A				
621人	2,200,058千円	703,642千円	932,975千円	3,836,675千円	6,178千円				

- ※ 職員数は、平成27年4月1日現在の人数です。また、職員手当には退職手当を含みま せん
- ※ 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務)) の給与費が 含まれ、職員数には当該職員を含んでいません。

③ラスパイレス指数の状況(各年4月1日現在)

	B100 (H 1 173 1 H 30	<u></u> /	
	小金井市	全国市平均	類似団体平均
平成24年	102.1	98.8	99.1
平成25年	102.6	98.5	98.7
平成26年	102.7	98.6	98.7
平成27年	101.0	98.7	98.9

- ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較 するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国 の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数です
- ※ 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単 純平均したものです。
- ※ 平成24年および平成25年は、国家公務員の時限的な (2年間) 給与改定・臨時特例法 による給与減額措置がないとした場合の値です。

(2)職員の平均給与月額、初任給等の状況

①職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額の状況(平成28年4月1日現在)

—船行政職

732 1 3 -2 144				
区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
小金井市	39.3歳	301,200円	421,226円	366,724円
東京都	41.6歳	316,682円	452,041円	398,107円

技能労務職

X	分	公務員				
		平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額(国比較ベース)	
小金井市		48.3歳	326,400円	391,396円	380,936円	
東京	京都	48.8歳	292,729円	395,396円	364,033円	

- 平均給料月額=平成28年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均額で
- * 平均給与月額=給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤 務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査にお いて明らかにされているものです。
- ※ 平均給与月額(国比較ベース)=比較のため国家公務員と同じベース(時間外勤務手 当等を除いたもの) で再計算したものです。

②職員の初任給の状況(平成28年4月1日現在)

(円)

区分	}	小金井市	東京都	
一般行政職	大学卒	181,200	181,200	
一加又11 正义相联	高校卒	144,600	144,600	
技能労務職	高校卒	142,000	142,000	

この初任給のほか、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当などが支給されます。